

講習の名称	【選択】生徒指導の理論と方法
講習の概要	司法・犯罪心理学の立場から、生徒指導の理論と方法について具体的に解説します。まず少年事件処理の流れや少年非行に係る関係機関について解説をします。それによって少年保護の法的体系について理解していただいたあと、生徒理解のために有用と思われる心理検査を実習していただき、また、非行事例に限定せず生徒指導に関係した事例検討を行っていただくなど、実践的な学びを体験していただきます。
担当講師	菅藤 健一（地域教育文化学部主担当教授）
講習開設日	令和3年7月24日（土）
時間数	8:50～16:10（6時間）
開催地	山形県山形市
会場・教室	小白川キャンパス A1（基盤教育1）1階 112教室
対象職種	教諭
主な受講対象者	小学校教諭・中学校教諭・高等学校教諭
受講予定人数	30人
受講者への連絡事項 （持ち物等）	心理検査（描画）の実習を行う予定です。12色程度の色鉛筆又はクレヨン等ご準備ください。サインペン及び画用紙はこちらで準備いたします。
評価基準	生徒指導に関する基本的な事項を理解できたかどうかを基準とします。
評価の観点	生徒指導に関するレポート課題を課し、生徒指導に関する基本的な事項の理解を評価します。どれだけ自らの経験と関係づけて課題への考察を深めることができるか、そしてそれをどれだけより具体的に表現できているかに着目いたします。
その他特記事項	